

## 第6章 パートナーシップが支えるまちの実現

現在の環境問題は、区民や事業者が一体となって日々の生活・事業活動のあり方を改善していかなければ解決できないものが増えてきています。そのためには、環境行政だけではなく、区全体における環境保全への関心や参加意欲の向上、環境保全行動を担う人勢や組織の発掘・育成、さらには、今後展開が期待される協働による取り組み体制の基盤づくりなどが必要です。区では、区民団体や事業者などの参加や協働による取り組みを推進し、また、各団体との連携・協力を進め、区全体の環境保全活動の活性化を図っていきます。

### 第1節 区民との協働による環境活動の推進

#### 1 全区民参加型環境保全キャンペーン

図2-6-1は全区民参加型環境保全キャンペーン（「板橋クリーン作戦」「ポイ捨て防止キャンペーン」「打ち水キャンペーン」）の参加者合計数の変化を示したグラフです。「ポイ捨て防止キャンペーン」「打ち水キャンペーン」の参加者数は減少しましたが、「板橋クリーン作戦」の参加者数が増え、参加者合計数は年々増加しています。

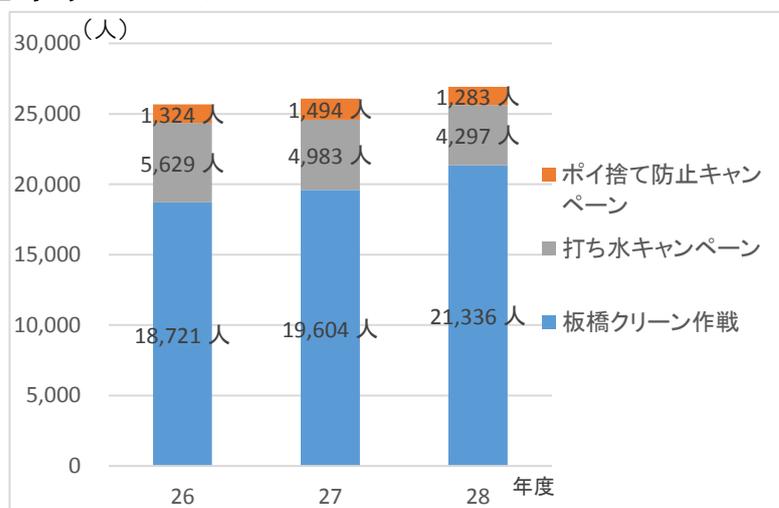


図2-6-1 全区民参加型環境保全キャンペーン参加者

#### 2 エコポリス板橋クリーン条例

板橋区は、平成10年10月にごみのポイ捨て等を防止し、地域の環境美化活動や区民の良好な生活環境を確保することを目的として、「エコポリス板橋クリーン条例」を制定しました。この条例では、「ごみのポイ捨て」、「公共の場所への落書き」及び「犬のふんの放置」の禁止など環境美化項目と地球環境への配慮事項として「焼却行為の禁止」と「不要なアイドリングの停止」を規定しています。さらに、区民等の責務として「自分たちのまちは自分たちの手できれいにしていく」という姿勢を明確に打ち出しています。“きれいなまち板橋”を作っていくためには、“ごみのポイ捨てをしない”というあたりまえのことをだれもが認識し、自宅のまわりや会社の周辺は自分たちの手できれいにしていくという区民の方々の積極的な取組が必要です。

その後、平成16年3月に、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てなど迷惑喫煙行為を防止し、清潔で快適な住環境を保全する目的で、「エコポリス板橋クリーン条例」を一部改正しました。同年7月からは、道路や公園など公共の場所では、“歩きたばこをしないように努めること”と“吸い殻などのポイ捨て行為”を禁止しました。さらに、特に人通りの多い駅周辺や混雑している商店街など、路上での喫煙行為により他の歩行者に対して迷惑や危険が及ぶ恐れのある区域を「路上禁煙地区」として指定できるよう規定し、平成16年10月1日に、「成増駅周辺」「上板橋駅周辺」「大山駅・区役所周辺」を

「路上禁煙地区」に指定しました。この地区内では、終日道路上での喫煙と吸い殻のポイ捨て行為が禁止され、巡回パトロールにより指導・啓発を行っています。この「路上禁煙地区」を、広く区民に周知するため、ホームページへの掲載、駅頭キャンペーンなどを継続的に実施しています。

歩きタバコやポイ捨てなどの迷惑喫煙を防止するためには、喫煙者のマナーアップを推進する必要があります。それには、地域全体での理解と協力が何よりも大切です。そこで板橋区では、ボランティアからなる「板橋区喫煙マナーアップ推進員」制度を平成17年6月に創設しました。この制度は、参加者の熱意とボランティア精神に支えられており、現在94名の推進員が、各地域で、吸い殻の清掃活動などに積極的に取り組んでいます。この結果、「路上禁止区域」内では、歩きタバコや吸い殻のポイ捨て件数の減少がみられています。しかし、板橋区全体ではまだ歩きタバコなどの迷惑喫煙があるため、平成17年10月1日に「板橋駅・新板橋駅周辺」「ときわ台駅周辺」「高島平駅周辺」の3地区を、平成18年10月1日に「東武練馬駅周辺」を、さらに平成21年5月1日に「志村坂上駅周辺地区」を路上禁煙地区に指定しました。現在、乗降客数の多い主要な8駅周辺を路上禁煙地区に指定しており、この8地区を中心として喫煙者のマナー向上を推進しています。



■ 喫煙マナーアップ推進員（ボランティア）

### 3 エコポリス板橋環境行動会議

板橋区は、平成13年10月、環境活動を行っている各種の組織を網羅した全区的な民間主導の組織「エコポリス板橋環境行動会議」を設立しました。会議は、学識経験者、団体代表者、地区環境行動委員会代表者、区職員で構成されています。

#### ■ 平成28年度活動方針

「エコポリス板橋環境行動会議」は、委員相互の緊密な連携のもとに、広く区民等に対して、環境保全・環境美化に関する普及啓発、環境情報の提供、環境活動に対する支援などを行うとともに、下記事項に重点をおいて、区民、団体、事業所、行政と連携した多様な取り組みを推進していきます。



■ 喫煙マナー推進員（区委託職員）

- ①地域清掃及び環境美化の推進に取り組みます。（春・秋の板橋クリーン作戦）
- ②ごみのポイ捨て防止の推進に取り組みます。（ポイ捨て防止キャンペーン）
- ③地球温暖化対策に取り組みます。（CO<sub>2</sub>削減区民運動「エコライフウィーク」）
- ④むだをなくし、ごみの減量、省エネの推進に取り組みます。
- ⑤環境基本計画の推進に取り組みます。

## (1) エコポリス板橋環境行動会議区内統一行動

「エコポリス板橋環境行動会議」では、区民の環境美化意識を高め、自主的な環境美化活動の輪を広げていくため、統一的な活動方針を定め、エコポリス板橋地区環境行動委員会への補助金を交付しています。全区的統一行動として展開する活動は、①春の板橋クリーン作戦②秋の板橋クリーン作戦③ポイ捨て防止キャンペーン④環境講演会⑤板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権⑥打ち水キャンペーン⑦CO<sub>2</sub>削減区民運動「エコライフウィーク夏」⑧CO<sub>2</sub>削減区民運動「エコライフウィーク冬」の8つです。(⑥・⑦・⑧については148ページ参照)

## (2) 平成28年度の実績結果

### ① 春の板橋クリーン作戦の実施(5月21日～6月5日)

私たちのまち板橋を、ポイ捨てのないきれいなまちにしていくために、全区的統一環境行動として「板橋クリーン作戦」を実施しました。この作戦は、事前に参加者団体を募集し、実施期間中の都合の良い日に清掃・美化活動を行ってもらうことで、区民一人ひとりの環境美化意識の向上及び自主的な環境美化活動の輪を広げることが目的としています。期間中、196団体、9,141人が参加し、美化活動を行いました。



■ 春・秋の板橋クリーン作戦

### ② 秋の板橋クリーン作戦の実施(11月1日～30日)

「春の板橋クリーン作戦」に続く、全区的統一清掃活動として事前に各団体・事業者、区民に参加を呼びかけ、実施期間中の都合のよい日に「秋の板橋クリーン作戦」を実施しました。期間中、230団体、12,195人が参加し、清掃活動を行いました。

### ③ ポイ捨て防止キャンペーン(12月3日～11日)

ごみのポイ捨てが多く、不特定多数の人が行き来する駅周辺等でポイ捨て防止キャンペーンを実施することにより、区民一人ひとりの環境美化意識を高め、板橋区をポイ捨てのないきれいなまちにすることを目的として実施しました。区民の皆さんへポイ捨て禁止を訴えるだけでなく、事業所・店舗周りの清掃や従業員への美化意識の啓発・指導などを盛り込んでよびかけました。期間中、69団体、1,283人が参加し、キャンペーン活動を行いました。

#### ④ 環境講演会の開催（2月4日）

料理研究家の行長 万里（ゆきなが まり）氏をお招きし、「フードロスって何？今私たちに出来ること」をテーマに現在世界で問題となっているフードロスについて、環境への影響に触れながら、レシピの紹介等も含め分かりやすくお話をいただきました。平成28年度の参加者数は52人でした。



■ 環境講演会

#### ⑤ 板橋クリーン作戦ごみ拾い選手権（2月25日）

環境美化に関する興味関心を持ってもらうため、チーム毎に集めたごみの重さや本数を競うイベントです。清掃活動をより楽しくするために、ゲーム性を持たせ、特に若い世代の人々を清掃活動へ呼び込むことを目的として平成25年度より実施しています。平成28年度の参加者数は30人でした。



■ ごみ拾い選手権

## 4 エコポリス板橋地区環境行動委員会

地区における環境行動組織として、板橋区各地域センターの所管区域を単位として、地域内の各種の組織、事業所、商店及び個人で構成する民間組織「エコポリス板橋地区環境行動委員会」を設立しました。役割として、構成員間の情報交換や連絡調整を行って、地域の統一行動につなげていく環境行動組織です（18地区委員会）。

### 地区環境行動委員会の活動内容

- |                 |             |                |
|-----------------|-------------|----------------|
| ・ 清掃活動（クリーン作戦等） | ・ 研修会       | ・ 講演会          |
| ・ 違反広告物パトロール    | ・ 普及啓発活動    | ・ フリーマーケット     |
| ・ びん・缶収集活動      | ・ Kids環境学習会 | ・ ポイ捨て防止キャンペーン |

これまで、個々の団体ごとに行われてきた清掃やリサイクル等の環境活動が、組織的な連携の場を持つことにより、一層活発化し、エコポリス板橋を実現することを目的としています。

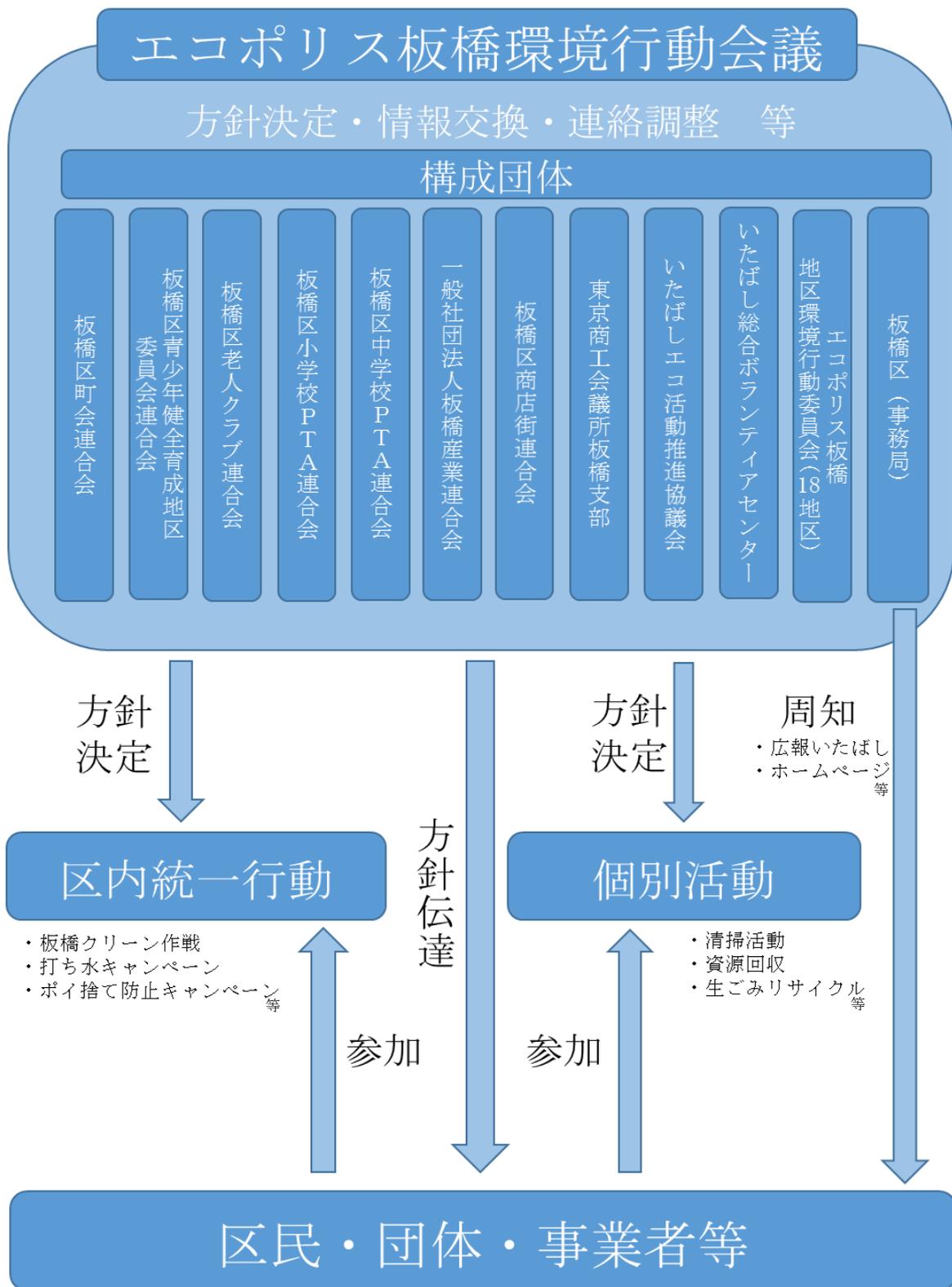


図2-6-2 エコポリス板橋環境行動会議イメージ

## 5 エコポリス板橋環境活動大賞

板橋区は平成11年11月に板橋区環境保全賞を創設しました。これは、平成10年10月に制定した「エコポリス板橋クリーン条例」に基づく顕彰制度と、昭和54年から行ってきた「板橋区環境保全推進優良事業所及び優良公害防止管理者感謝状贈呈要綱」の二つの制度を統合し、「板橋区環境保全賞」として、環境問題に積極的に取り組み、努力されている方々に対し表彰を行ってきました。

しかし、環境保全賞の創設当時と比べると、区民や団体、企業等の環境に対する変化・向上により、様々な環境活動が実施されるようになりました。また、平成21年3月に「板橋区環境基本計画（第二次）」が策定され、取り組むべき環境施策が具体化されました。については、区民や団体、企業等の「エコライフスタイル」を支援し、区政の環境シフトを実現し、環境戦略に基づく施策の総合化を推進するため、従来の「環境保全賞」をリニューアルし、「エコポリス板橋環境活動大賞」として平成23年度より実施しています。



■エコポリス板橋環境活動大賞

## 6 区民団体における取り組み

エコポリスセンターでは、平成7年の開設以来、エコロジー講座・エコライフマスター講座を開催するなど、環境団体や環境について行動できる人づくりを展開しています。こうした取り組みの成果として、平成10年度版国の環境白書でも取りあげられた「ぼんぷ」、「裂織りの会」や「リフォームクラブ」をはじめとする自主的活動団体が育ってきています。エコポリスセンターには、さき織り（古くなったハンカチ等の布を細く裂いて横糸として布を織ること）が体験できるコーナーや各団体の活動成果を展示するコーナーがあり、来館者の人気を集めています。

また、板橋区内の環境団体やエコライフマスター講座の修了者等は、エコポリスセンターが行う事業の受託者や講師として活躍しています。なお、現在、エコポリスセンターを中心に活動している主な環境グループは、表2-6-1のとおりです。

自主的な環境団体等の活動は着実に進展しつつありますが、環境団体の数がまだまだ少ないことなど多くの課題が残っています。今後とも、積極的に活動団体等人材育成を図っていく必要があります。

表2-6-1 平成28年度エコポリスセンターに登録されている環境団体

名 称	活 動 内 容
板橋区子どもの科学を 推進する会	「こどもスーパーサイエンス実験教室」を年間10回実施。小学4年生～6年生各回25名定員。平成28年度で8年目。保護者の参観も多く、児童保護者の反応は好評。申込方法は年度初めの1回で、同じメンバーで10回行っています。(指導者は元サイエンスティーチャー) (安全保険金年間300円、教材費年間700円、計年間1,000円必要)
いたばし水と緑の会	身近な自然をテーマに1997年から活動し、野生の動植物が生活する場所(ビオトープ)をつくり、維持管理・調査・清掃等を行っている。区立美術館横の赤塚トンボ池とミニトンボ池、赤塚城址のバツタ広場、まちなかにある日暮台公園で、身近な生き物や植物に出会い、いのちの不思議さを体験し、自然を楽しみ、保全する活動。会報「みずみどり」 【ホームページ】 <a href="http://homepage3.nifty.com/mizutomidorinokai/index.htm">http://homepage3.nifty.com/mizutomidorinokai/index.htm</a>
板橋剪画同好会	和紙は環境に優しく、自然環境の中で比較的容易に循環(再利用)出来る素材と言えます。本会は剪画(切絵)技術の向上を図り、会員相互の親睦を深め、地域社会に寄与する事を目的とする。和紙を使って、自分達の生活環境や周辺の草花などをじっくり観察しながら作品を創り上げる事を目的とし、環境保全に努める。
生ごみリサイクル ネットワーク・板橋	環境に負荷を与えない「持続可能な資源環境型社会」に向けて生ごみの堆肥化・ごみ減量を推進。大切な有機質資源の有効利用をすすめるための、ペランダでも出来る「生ごみ堆肥づくり」・上手なコンポスト容器の使い方などを講習会・イベントなどで訴える
いたばし野鳥クラブ	自然のままの野鳥や動植物に親しみ、自然を守ることや、自然回復についても働きかけを行ないます。観察会や調査なども行ない、会報も発行します。
エコ紙漉きはがき絵の会	捨てればごみとなる牛乳等の飲料紙パックを再利用して、手漉きはがきを作り、水彩、顔彩、墨等の画材で絵を描き、押し花、ちぎり絵、折り紙、コラージュ等で付加価値をつけ利用を図る。紙漉きを通して資源の大切さを体験し、微量ながらごみの減量を図ります。
NPO法人 いた・エコ・ネット	(1) 自然や文化などの保全や復元に関する事業(2) 環境保全型のまちづくりに関する事業(3) 高齢者が暮らしやすい環境をつくる事業(4) 持続できる社会を目指した環境教育(学習)等に関する事業(5) その他目的を達成するために必要な事業 現在進行中の具体的なプロジェクトは、①いたばしコットン栽培プロジェクト、②区民発電所建設プロジェクト、③環境教育プロジェクト、④PC再生化病院プロジェクト、⑤もったいないリユースプロジェクト等です。
エコラボ未来	知識、態度、意欲、実践力、技能を習得し、環境自然・科学・教育プログラムを開発、実践する活動。ジュニアリーダーを育成するための活動。会員及び関係機関との交流を推進するための活動。板橋区立エコポリスセンターの協力活動。
NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パ ンゲア	・環境教育(学習)の普及(出前授業・区民向け講座) ・環境教育(学習)プログラムの開発 ・毎月、ワークショップを学生と協働で開催・エコツアー実践 ・保幼小中大学機関等へセンスオブアースニュースを毎月3500部発行
おもちゃの病院板橋	地域の於ける親子の会話を通し物へのこだわり資源の大切さを知り、壊れたおもちゃを修理再生することを目的に活動。毎月第2土曜日10:00～15:00

名 称	活 動 内 容
おもちゃの病院エコポリス	地域に於ける、保育園・学校・幼稚園・イベント（地域・学校・団体・行政）に直接出向き、自然環境の意義・資源の有効活用の考え方を伝えながら地域の人達と一緒に物づくりを介して重要性を広めて行く事を目的としています。
環境を考え行動する市民グループ「ぼんぷ」	・毎月第3木曜日、古着交換会・年3～4回会報発行・年1～2回親睦会、講演会 ・被災地に義援金送付のためフリーマーケットに参加・環境なんでも見本市に出展
グループけやき・花づくりグループさくらの会	年間を通し毎週日曜日、公園内清掃（4月～9月 8：00～、10月～3月 9：00～）花壇の樹木、植物の手入れ」と保全 ブルーけやき、さくらの会による企画運営で年間8回の行事を開催 【ホームページ】 <a href="http://www.groupkeyaki.kiramori.net/">http://www.groupkeyaki.kiramori.net/</a>
こより絵虹の会	こより絵を通じて相互の学習・親睦を図り生涯学習を進めると共に作品展なども開催
裂織りの会	日本古来の手法である裂織りを予約なしで体験できるコーナーを月2回開催しています。「エコスクール」、「環境なんでも見本市」に参加。残り毛糸を利用したマフラー等も作れます。
植物画を描く会	毎月1回(第2土曜日)に植物画教室をエコポリスセンターで開催。年度末(3月)に赤塚植物園で植物画展を企画。環境なんでも見本市にも出展。夏休みエコスクールでは「葉っぱの变身」を担当。
新婦人絵手紙サークル	毎月3回の教室(線引きと色付けの実習) ・前野ホール祭りの展示(全員の作品)・エコポリスセンター掲示板の張替え ・新婦人絵手紙交換会参加・体験会の実施
手づくり広場	不要となった布(ゆかた、シーツ、布団側などを裂いて「布ぞうり作り」に取り組んでいる。布のリサイクル、足の健康のためにも「布ぞうり」を勧めています。
みどりの手	赤塚公園をフィールドに雑木林復活プロジェクト、ジロボウエンゴクサ群落の保全。専門家を招いて年1回公募の林の勉強会。赤塚公園友の会としてニリンソウ観察Dayの企画と運営等。
リフォームクラブ	不要になった布(ネクタイ、着物、傘)等を使って皆でアイデアを出し合い、バッグや小物等作成しています。また、思い出のある品を変身させる楽しみもあり、月2回のおけいこに励んでいます。 ※ リュック、チュニック、パンツ、ポシェット等々

## 7 パートナーシップ構築のための場づくり

環境団体の支援と同時に環境団体相互の情報交換や横のつながりを強化していくことも区の重要な役割です。これまでに、多くの環境活動団体が誕生し、エコポリスセンターを拠点にして活動しています。これらの団体がより活発に活動していくには各団体がお互いの活動を知り、理解をもつ機会が必要です。

そこで区では、定期的に各団体との意見交換会を開催し、各団体の活動内容を報告する場を設けるなど、より一層活動の輪が広まるよう支援していきます。

### 【 いたばしエコ活動推進協議会 】

いたばしエコ活動推進協議会は、私たちの住む「板橋」の環境をより良いものにしていくために、環境に配慮したまちづくりや環境に優しい暮らし方の普及など具体的な取り組みについて自ら行動し、活動を広げることを目的に、区民・事業者・区民団体等と行政の協働組織として平成24年に発足しました。

活動は毎月1回、定例会を開催し、具体的な取り組みについて企画立案、実践、報告などを行なっています。また、協議会内に5つの活動部会があり、それぞれテーマに沿った環境問題に取り組んでいるほか、協議会全体では、区との協働により、環境なんでも見本市やエコライフフェア及びCO<sub>2</sub>削減区民運動（エコライフウィーク）の企画・運営を行なっています。

#### ① 温暖化防止普及部会

地球温暖化を促進する原因の一つであるCO<sub>2</sub>排出量の抑制を、区民とともに考え、行動していくことを目的として、様々な活動を行っています。

#### ② 自然環境部会

毎月、街区やコースを決めて、そこに見られる緑や自然等を通じて、将来に自然環境について考える活動を行っています。

#### ③ 環境啓発部会

環境について共に考え、生活の中で知恵や工夫により解決する道を見つけながら環境に優しい暮らしを協働して実行していくための啓発活動を続ける部会です。

#### ④ 環境まちづくり部会

環境に配慮したやさしい“まちづくり”を目指し、区民・学校・事業者・行政と連携して、環境美化活動を中心に活動を行っています。

#### ⑤ 再資源部会

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の普及啓発を中心に活動を行なっています。

#### ⑥ 環境なんでも見本市・エコライフフェアなどの企画・運営

NPOなど環境活動団体や企業、学校、行政などの環境活動の情報発信、交流の場として、毎年、区と協働により企画・運営を行っています。

## 環境なんでも見本市

様々な環境活動や環境にやさしい暮らし方などを、展示や報告会、ワークショップ等で紹介し、自分たちの暮らし方を見直し、自分たちに何ができるのか考えてもらうイベントです。

平成28年度は2日間で2,824人の方が来場されました。



■ 環境なんでも見本市  
(環境クイズラリーの様子)



■ エコライフフェア

## ⑦ CO<sub>2</sub>削減区民運動（エコライフウィーク）

平成18年度から夏季・冬季それぞれ1週間を「エコライフウィーク（重点啓発週間）」とし、CO<sub>2</sub>削減民運動を展開しています。具体的な取り組みや期間中のイベントについては、いたばしエコ活動推進協議会が中心となって企画・運営しています。エコライフウィークの間は、アクション9（ナイン）やライトダウンキャンペーン、打ち水キャンペーン、緑のカーテン見学ツアー、エコ・クッキングなどを実施しています。



■ 打ち水キャンペーン